

令和2年度 第2回 三岳荘 小松崎病院 認知症疾患医療センター 連携協議会

令和3年2月18日(木)に令和2年度第2回連携協議会をzoomにより開催しました。

サポート医の先生方や医療従事者、担当医療圏の地域包括支援センターの方など、57名にご参加いただき、職種も、医師や看護師、保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士など様々でした。

みらいリーガルオフィスにて司法書士としてご活躍されている 大関 彰 先生より、「家族信託」についてご講演をいただきました。家族信託とは、財産の全部を管理する後見人制度とは違い、自ら選んだ人に財産の管理・運用をしてもらうことが出来ます。事前に信託口座を開設したり、公正証書として残しておくため本人が認知症となっても、託した財産を動かすことが出来るというものでした。今回のご講演を通して、認知症の方を支援していくために必要となる知識を十分に得ることが出来たのではないのでしょうか。また、皆様からいただいたアンケートからも、「安心できるサービスだと思いました」、「研修に参加して良かったと思いました」などたくさんのご感想をいただくことが出来ました。

